

# 地域福祉計画の評価について

現行の第2次計画では、共通した目標値は設定していない

個別の事業の件数や人数等の結果＝地域福祉の評価ではない



計画を進めてきた過程で、**地域にどんな主体を増やしてきたか**  
**地域にどんな変化を与えたのか**  
**地域と協働した経験**

を「評価」としてはどうか

# 現行計画の体系

## 基本理念

気づき、つながり、届き、  
支え合う、たつせがあるまち  
ながくて

## 基本目標

- ① みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち
- ② みんなが「つながる」楽しさを知るまち
- ③ みんなに「届く」安心なまち
- ④ みんなで「支え合う」喜びを知るまち
- ⑤ みんなに「たつせがある」成長できるまち

## 基本施策

お互いに見守り、声をかけあえる地域づくり

困りごと、悩みごとに気づける体制づくり

地域でつながる楽しいまち

いつでも相談できるまちづくり

顔の見えるネットワークづくり

困っている人を包括的に支える体制づくり

ずっと住み慣れた地域で元気に暮らせる環境づくり

気軽に「困った」と言えるまちづくり

お互いさまの地域づくり

一人ひとりが考え、学び、成長する機会づくり

みんなに役割と居場所がある地域づくり

人づくりからはじまるまちづくり

## 基本目標①

# みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち

いつでも住み慣れたまちで安心して暮らし続けていくために、お互いに見守り、何かあったときに気づいてもらえるまちを目指します。

行方不明高齢者保護ネットワーク事業をきっかけに、行方不明者の近所の方や喫茶店の従業員等が発見に協力してくれた。

地域共生社会推進事業(地域づくり)を進める中で、災害時に要支援者等を見守るために、まちづくり協議会、自治会、民生委員等の関係者どうして連携を求める声が地域から上がりつつある。

生活支援サポーターの養成研修を受けた方が、地域の通いの場を手伝っている。

支え合いマップづくり講座を受講した10地区のうち6地区が市民主体で活動中。2地区は市民が主体となるよう移行中。

乳幼児健診、パパママ教室、育児教室では、コロナ対策を講じているので、参加者どうしの交流を促すことが難しくなった。

産前産後子育て相談員訪問事業で、公共施設やサロンに保健師が出向くことで、地域の身近な場で相談しやすくなっている。

↑基本目標④にも関連

↑基本目標②⑤にも関連

↑基本目標②④にも関連

↑基本目標②にも関連

## 基本目標②

# みんなが「つながる」楽しさを知るまち

市民・団体・事業者・行政などがつながり、支援に結び付けていくために、いつでも気軽に相談ができるまち、問題の解決に向けて、ともに協力し合えるまちを目指します。

地域共生ステーション整備事業により整備された共生ステーションを拠点に、まちづくり協議会が様々な団体と連携した事業を実施している。

↑ 基本目標⑤にも関連

ながくて・学び・アイ講座から立ち上がったサークルが積極的に活動中。今年度も「オンラインで活動継続中」「新メンバーが加入した」という報告が届いている。

↑ 基本目標⑤にも関連

子育て支援センター事業の育児講座ではオンライン方式など新たな方法でも実施。ことりルームぴっぴでの子どもの預かりはニーズが高く、実績が伸びている。

地域共生社会推進事業(相談支援)では、相談支援機関において複雑な課題をもつ世帯の相談があり、包括化推進委員が調整役となって課題を解きほぐし、各相談支援機関の役割分担をし、チームによる支援をするよう努めている。

↑ 基本目標③にも関連

在宅医療・介護連携推進事業による多職種交流部会では、ケアマネや包括が医師と交流する機会を設けたことで、医師との顔が見える関係が構築できつつある。

↑ 基本目標⑤にも関連

## 基本目標③

# みんなに「届く」安心なまち

生活課題や困りごとが複雑化・複合化しており、その解決においては、従来の「縦割り」の考え方では十分に行き届かないため、庁内の連携促進による切れ目ない支援が必要な人に届くまちを目指します。

福祉有償運送事業では、認定講習会を修了した福祉有償運送ドライバーが増加し、利用件数も増加中。

↑基本目標⑤にも関連

健康マイレージ事業では、令和2年度からアプリの利用を開始し、利用者が増加した。

## 基本目標④

# みんなで「支え合う」喜びを知るまち

多くの人々が地域の活動に参加し参加し、困りごとを気軽に相談できるような関係づくりを進め、市民・団体・事業者・行政など、みんなが協働してお互いに支え合えるまちを目指します。

認知症カフェでは、市民や大学生、福祉事業所等がボランティアスタッフとして、企画・運営・チラシ作成などそれぞれの得意分野で協力してくれている。

## 基本目標⑤

# みんなに「たつせがある」成長できるまち

誰もが地域の中でそれぞれに役割と居場所がある「たつせがある」まちを目指します。

学生の社会貢献活動を支援する取組では、リリモテラス公益施設のコーディネーターが学生の活動を支援することで、リリモテラス公益施設が学生の活動拠点になりつつある。

移動支援の支援員の人材育成では、市内登録事業者が実施する養成研修を大学生が受講し、事業所内で支援員として障がいがある人の移動支援をしている。